

# さくらら マップ



休憩展望塔から見下ろす桜と瀬戸内海

## 開花時期が早い～やや早い桜 ※染井吉野を基準とした場合



④ 越の彼岸桜



⑬ 春月花



⑤⑤ 寒桜(晩咲系)



⑤⑥ 河津桜



⑥① カンヒザクラ(寒緋桜)

和名 <よみ>	特徴	位置図番号
エドヒガン(江戸彼岸)	北海道と沖縄を除く日本全国に分布。花期が早く、長命で大木になるものが多い。(うらら池東岸にもあり) 野生種	58
乙女東彼岸 <おとめあずまひがん>	エドヒガンに似ているが、花弁の切り込みが少し深い。玉咲きになる。エドヒガンの花付きの良い選抜株。	46
河津桜 <かわづざくら>	濃い淡紅色で大きな花が咲く。カンヒザクラとオオシマザクラの雑種と考えられている。静岡県の河津に原木がある。	56
寒桜[晩咲系] <かんざくら>	カンヒザクラとヤマザクラの雑種と考えられている。サクラの栽培種の中では最も早くから開花。	55
寒桜[早咲系] <かんざくら>		62
カンヒザクラ(寒緋桜)	日本では石垣島に自生。花が赤く、下向きに咲き開花が早い。寒さには弱い。野生種	60
啓翁桜 <けいおうざくら>	切花としてよく用いられる。カンヒザクラとシナミザクラの雑種と考えられている。	41
越の彼岸桜 <こしのひがんだら>	富山県城端に自生があり、移植された株が高岡城跡などで見られる。コヒガンによく似ているが、めしべに毛がある。10m以上に大きく育つ。	4
シナミザクラ	中国原産で食用としても栽培される。早咲き品種の交配親の一つ。野生種	64
春月花 <しゅんげつか>	ケイオウザクラを八重咲きに改良した品種で、春に月のように輝く花になって欲しいことから名づけられた。(カスケード)	63
紅枝垂 <べにしだれ>	エドヒガンの枝垂れ型のなかで花色が濃い品種。大木になるものが多い。八重紅枝垂より早咲き。	36
マメザクラ(豆桜)	富士山周辺でよく見られ「富士桜」とも呼ばれている。小さくても開花するため盆栽としてもよく用いられる。野生種	20
陽光 <ようこう>	「天城吉野(あまぎよしの)」と「寒緋桜(かんひざくら)」の交配種で、1981年に登録された品種。平和への願いを込めて作出された。	39

注1:和名の50音順で並べています。注2:野生種となっているもの以外は栽培品種です。





① 染井吉野



③ 八重紅彼岸



⑪ 神代曙



④② 鬱金



⑩ 伊豆吉野



⑫ 昭和桜



④⑨ 水上



②③ タカネザクラ



③④ 八重紅枝垂



③⑦ オオシマザクラ(大島桜)



⑤③ 紅豊



④④ 仙台屋

和名 <よみ>	特徴	位置図番号
有明 <ありあけ>	サトザクラの栽培品種。薄い淡紅色の花弁は大きく皺がある。通常は5枚だが、それ以上になることもある。	40
伊豆吉野 <いずよしの>	エドヒガンとオオシマザクラの種間雑種。広く栽培されているが、伊豆半島で自生が見られる。	10
鬱金 <うこん>	独特の淡い黄緑色の花色は、染料のウコンにたとえられる。欧米でも人気があり、よく植えられている。	42
オオシマザクラ(大島桜)	伊豆大島に多い。白花、緑葉が標準形。サトザクラのもとになった重要野生種。桜餅の葉に使われる。花の進化園の最上部にもある。	37
大提灯 <おおちょうちん>	長い小花柄で提灯のようにぶら下がってつこのでこの名前がついた。	13
オオヤマザクラ(大山桜)	花が紅色なので「紅山桜(べにやまざくら)」とも呼ばれ、北海道にも多いことから「蝦夷山桜(えぞやまざくら)」とも呼ばれている。野生種	17
狩衣 <かりぎぬ>	白色一重咲きで、サトザクラのシラユキによく似ている。	43
小松乙女 <こまつおとめ>	エドヒガン系の栽培品種。原木は、東京都の上野公園の小松宮銅像付近にある。一重咲きの淡紅色。	30
さとうそめい	ソメイヨシノの枝変わり品で色が濃い。広島市の佐藤文雄氏が2005年に登録した品種。	8
昭和桜 <しょうわざくら>	国立遺伝学研究所の竹中要博士が、大島公園(伊豆大島)のソメイヨシノの実生から育成し、1959年に名付けた。一重で花色は白。	12
神代曙 <じんたいあけぼの>	林弥栄により植栽地(神代植物公園)と旧名(アケボノ)に因んで名付けられた。ソメイヨシノ系の品種で花色が淡紅色でやや濃くなる。てんぐ巢病にかかり難い。	11
仙台屋 <せんだいや>	ヤマザクラの栽培品種。紅色の花を持つ。原木は高知市の仙台屋という商家の前にあった。	44
染井吉野 <そめいよしの>	エドヒガン系とオオシマザクラ系の種間雑種と考えられている。日本で最も有名なサクラ。	1
タカネザクラ(高嶺桜)	別名「峰桜(みねざくら)」とも呼ばれ、1500m以上の亜高山帯に見られる。小花柄に毛がない。野生種	23
チシマザクラ(千島桜)	高嶺桜より早咲き。葉の柄や花の萼付近に毛が生えている。野生種	26
広島江波山桜 <ひろしまえばやまざくら>	ヤマザクラの一種で、5~13枚もの花びらをつける。原木は江波山にあり、広島市の天然記念物に指定されている。	16
紅豊 <べにゆたか>	北海道松前町において浅利政俊が作出した、高砂系(チョウジザクラの関与が推定される)のサトザクラ。	53
招福 <しょうふく>	マメザクラの二重咲きの品種。花は二重の淡いピンク色で幼木でも開花する。	72
みどり	純白一重の品種。緑色の萼とのコントラストが上品で美しい。	70
雅桜 <みやびざくら>	埼玉県で発見された桜で、皇太子妃雅子様のご成婚記念として命名された桜。別名は「プリンセス雅」。カンヒザクラと他種との種間雑種と考えられる。	67
水上 <みなかみ>	花序は短く、花は白色で小さいがたくさんの花を咲かせる。	49
八重紅大島 <やえべにおおしま>	花弁は20~30枚。オオシマザクラとサトザクラの交雑種ではないかと考えられている。	48
八重紅枝垂 <やえべにしだれ>	エドヒガン群に属する。開花期が長く、人気が高い。仙台や京都に多く植えられている。	34
八重紅彼岸 <やえべにひがん>	マメザクラとエドヒガンの種間雑種と考えられる。コヒガンの花が八重咲きになったもの。	3
舞姫 <まいひめ>	公益財団法人日本花の会が創立50周年を記念して作出した品種。エドヒガン系の八重咲きで花弁は約15枚。	65
ヤマザクラ(山桜)	白い花と同時に赤褐色の若芽が伸びる。ほぼ日本中に分布している。開花期など変異が多い。野生種	2

注1:和名の50音順で並べています。 注2:野生種となっているもの以外は栽培品種です。

# 開花時期がやや遅い～遅い桜

※染井吉野を基準とした場合



35 金輪寺白妙



29 関山



22 菊桜(六高菊桜)



6 普賢象

和名 <よみ>	特徴	位置回 番号
浅黄 <あさぎ>	鬱金よりも淡い花色のもの。鬱金と同一との見解もある。	47
旭山 <あさひやま>	矮性の桜で、若木のうちからよく咲く。盆栽や鉢植え向き。ピンク色の半八重咲き。	19
天の川 <あまのがわ>	枝は横に張らず上に向かって伸び、花も上を向いて咲く。	54
嵐山 <あらしやま>	サトザクラの栽培品種。花弁は大きな円形で質が厚く、緑の色が濃い。	45
一葉 <いちよう>	サトザクラの栽培品種。淡紅色の花色で八重咲き。めしべが通常1本で葉化することがある。	9
糸括 <いとくくり>	江戸時代から知られている品種で、長い小花柄があり7~8個の半八重の花が咲く。	50
カスミザクラ(霞桜)	小花柄などに毛がある場合が多く、別名「毛山桜(けやまざくら)」とも呼ばれている。ヤマザクラより開花が遅い。野生種	18
関山 <かんざん>	荒川土手に栽培されていたもの。花が大きく、花弁は20~45枚。2本のめしべは葉化する。	29
菊桜(六高菊桜) <くろっこうきざくら>	岡山の第六高等学校に栽培されていた。開花時には新芽が展開している。	22
祇女 <ぎじよ>	京都嵯峨中院に自生のものを祇王寺に移植。祇王の妹、祇女に因み命名。ヤマザクラ系で八重咲き、淡紅色。	28
御衣黄 <ぎょいこう>	淡い緑色の花色が特異で、広く栽培されている。花弁に緑色の筋模様が入る。	38
兼六園菊桜 <けんろくえんきざくら>	花弁の数が最も多い品種で350枚以上ある。原木は石川県の兼六園にあり、国の天然記念物だったが枯死した。	14
紅華 <こうか>	1965年に浅利政俊が作出した。花の形や色から名付けられた。オオヤマザクラとサトザクラの種間雑種と考えられている。開花期間が長く美しい八重桜。	66
金輪寺白妙 <こんりんじしろたえ>	花色が白とされている文献があるが、当園の株は桃色の八重で、中心部付近の花弁はねじれるようにつく。	35
作並菊桜 <さくなみきざくら>	花弁の多い菊桜の一つで、淡紅色の花が咲く。	31
松月 <しょうげつ>	葉色は緑色が強く、先端は著しく糸状に伸びる。花色は淡く上品。	25
普賢象 <ふげんぞう>	2本のめしべを象の鼻に見立てた名前。室町時代からあると言われる古い品種。	6
松前新珠 <まつまえあらたま>	1967年に選抜された品種。花弁は30枚前後、淡い紅紫色がかわいらしい。	32
八重曙 <やえあけぼの>	サトザクラの栽培品種。花弁数は約12枚、福祿寿によく似る。	51
八重紅虎の尾 <やえべにとらのお>	「江戸」「東錦」と呼ばれている桜と同じ栽培品種に分類される。	7
ロイヤルバーガンディ	米国で発見された関山の枝変わり品種で、春から落葉期までの葉色が黒紫色になる。その他の特性は関山とほぼ同じ。	68



28 祇女



54 天の川

## 秋～春咲きの桜



15 子福桜

和名 <よみ>	特徴	位置回 番号
アーコレード	英国でオオヤマザクラとコヒガンの交配により育成された品種。花は淡紅色の大輪で半八重咲き。	69
子福桜 <こぶくざくら>	春と、秋から冬にかけての2回咲く。シナミザクラが片親。白色八重咲きで小花柄は短い。	15
三波川冬桜 <さんぱがわふゆざくら>	オオシマザクラとマメザクラの種間雑種と考えられる。10月頃より翌春まで咲き続ける。	52
十月桜 <じゅうがつざくら>	春だけでなく、秋にも咲く珍しい半八重のサクラ。マメザクラとエドヒガンの交雑種と考えられている。	5
ヒマラヤザクラ	ヒマラヤ近くに分布。日本では晩秋から初冬に咲く。野生種	※

注1:和名の50音順で並べています。注2:野生種となっているもの以外は栽培品種です。※:花の進化園に植栽。